

北海道浮魚ニュース

令和元（2019）年度 16号

2019年8月29日

道総研 函館水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎スルメイカ電子標識（アーカイバルタグ）放流情報

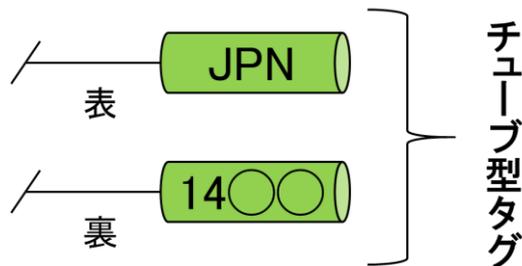


図1 チューブ型タグの形状

8月28日に水産研究・教育機構、中央水産研究所により実施されたスルメイカの電子標識（アーカイバルタグ）放流情報についてお知らせします。

標識を付けたイカは8月28日に函館沖にて放流されました。標識放流したイカには2種類の標識が付いています。一つ目は緑色のチューブ型タグで、「JPN」の文字と、4桁の数字（1400～1428）が記されたタグ（図1）がヒレの付け根部分に打たれています。二つ目は電子標識（アーカイバルタグ）でヒレの中心部の胴体部分についています（図2）。この電子標識には10秒間隔で深度、水温、照度が記録されるため、回収されると標識されたスルメイカの経験水温、分布水深、緯度経度など詳細なデータを得ることができます。

図2のようなイカを再捕された方は電子標識を捨てずに図2の連絡先までご連絡頂くようお願いいたします。

探しています!

標識スルメイカ

標識の付いたスルメイカを見つけたらご連絡ください!

通常標識

- ✓長さ2cm
- ✓プラスチック製
- ✓黄色

データ記録型の電子標識

- ✓円筒状
- ✓長さ3cm
- ✓幅1cm
- ✓樹脂製(透明)

捨てないでください!

データが入っています

教えてください

①標識番号 ②漁獲日 ③漁獲場所(緯度経度など) ④漁法
⑤体重・外套膜(前部分)の長さ ⑥漁獲者の連絡先

連絡先

TEL: 045-788-7635, FAX: 045-788-5001
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 中央水産研究所
担当: 加賀 敏樹・岡本 俊

図2 電子標識の形状と連絡先